

「わが村は美しくー北海道」運動

北海道開発局では、道内各地での住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村の発展に寄与することを目的に、「わが村は美しくー北海道」運動を推進しており、この運動の一環として、平成14年から2年に一度コンクールを開催しています。

第6回コンクール（平成24年度）には、全道から113件の応募があり、農山漁村における地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりにおいて、特に優れた活動として優秀賞14団体及び奨励賞34団体の表彰が決定し、釧路ブロックからは優秀賞1団体、奨励賞3団体が受賞しました。

平成25年度、前年度に優秀賞として選ばれた14団体の中から、先導性・モデル性の高い活動を行っている団体として、釧路ブロックの「ハーブンマージュ」（鶴居村）を含む下記3団体が大賞を受賞しました。



- ◆ ハーブンマージュ（鶴居村）
- ◆ 「恵庭農畜産物直売所 かのな(花野菜)」運営協議会（恵庭市）
- ◆ 留萌・麦で地域をチェンジする会（留萌市・小平町）

第6回コンクール 応募団体のご紹介（釧路ブロック）



ハーブンマージュ（鶴居村）

はじめは？

鶴居村にある丘の上の小さなファームレストラン「ハートンツリー」ここでの料理教室をきっかけに村に住む女性たちが集まり、交流を行う中から活動がスタートしました。

ハーブのもつ自然治癒力に着目しハーブを活かした「安心・安全・健康」志向のアイデアを共有しながら、鶴居産の食材にこだわった食と鶴居村ならではの地域資源を活かした商品開発を手掛けるなど農村女性の視点から地域活性化に取り組んでいます。



おもな活動

①自家栽培のハーブや自生する野草を使ったハーブティーやハーブパンづくり、鶴居産の蜜蝋（みつろう）などの地域資源を使った手づくりの自然派化粧品、ハーブを取り入れたハーブバターなどの乳製品開発と販売、②鶴居産の食材を活かした料理教室、ハーブ・アロマ体験講座、ハーブを用いたガーデニング講座、クリスマスリース作りやお正月生け花講座など季節に合わせたイベントの開催などを行っています。

活動拠点のファームレストラン周辺には手づくりのハーブガーデンを作り、地域の農村景観ともマッチしています。

鶴居村商工会と連携して鶴居村市街地の国道沿いの花壇にハーブを植栽するなど、地域住民とも一緒になった活動に取り組んでいます。

ここが自慢

「ハーブで生きがいづくり、ハーブで地域づくり」

ハーブには自然治癒力を高める作用があります。心地よい香りは癒しの効果をもたらし、心身のリフレッシュに繋がります。体験講座の講師も会員が行うので、誰でも気軽に参加することができます。

将来は、チーズ工房で牧場ごとのチーズ生産、自家製ブドウのワイナリー、地域景観を活かしたフットパス整備など、農村に住む女性の視点から「鶴居村をハーブの村に」を合い言葉に活動に取り組んでいます。



奨励賞 昆布森漁業協同組合女性部（釧路町）

地域の特産品である昆布や魚介類を加工・販売することにより、地域水産物の付加価値の向上や、料理教室の開催、異業種間交流による普及啓発に取り組んでいます。

釧路丹頂農協女性部との交流事業では、内陸の地域では生産することができない水産物を紹介することで、地域の特産品の知名度向上に繋がっています。また、地域の清掃活動や植樹活動、花のまちづくり協働事業を通じて地域の漁業生産環境の改善及びイメージの向上を図っています。

平成24年春に完成した昆布森水産複合施設では、きざみ昆布、いくらのお味噌漬け、たらをはじめとする昆布めなど様々な加工品の製作を行い、町内外で行われる各種イベントで無料配布したきざみ昆布が短時間で配布終了になるなど好評を得ています。また、昆布森漁協で開催している土曜市では、たらのお昆布めなどの加工品の売れ行きが好調と、消費拡大に繋がっています。



奨励賞 根室・室根交流の会（根室市）

根室市と岩手県一関市室根町は、逆さ地名が縁で平成11年からマラソンや駅伝などのスポーツ交流や、それぞれの地場特産品である根室の「海の幸」と室根の「山の幸」などの物流、地域の特色を活かした郷土芸能の相互交流を続けています。

特に、特産品の交流から室根で創作された、根室の昆布と室根の鶏肉を使用した「根室昆布丼」は食堂の定番メニューとして人気を呼んでいます。また、郷土に根付いた文化交流は、両地域の人々の創造力と郷土愛を育むことに繋がっています。

交流の原点は、人と人との心のふれあいを大切にすることにあり、これらの交流が将来に渡って末永く継続していくためには、次代を担う若者の育成が不可欠だと思っています。この縁で結ばれた交流の絆を一層深め、両地域住民の幸せと生きがい、人づくりとまちづくりに寄与する若者の育成に取り組んでいきます。



奨励賞 羅臼漁業協同組合女性部（羅臼町）

漁村女性の地位の向上を図り、住みよい漁村を築くことを目的に設立し、女性の視点からの美化活動や安全・安心な食の環境づくりを実践するとともに、町内で水揚げされる魚介類の魅力をより多くの人に広めようと、普及活動を行っています。

毎月開催されている「浜の母ちゃんごっこ市」や、家庭の生活排水を見直そうと、廃油・米のとぎ汁を利用した石鰯づくり及びその作り方の講習会開催、町の特産品である昆布や鮭を加工した「めなしの恵み」「羅皇の飯寿司」の販売など、環境への配慮や付加価値向上、魚食普及に取り組んでいます。

また、羅臼町には世界自然遺産知床や北方領土を望める立地など、観光資源が豊富にあることから、地域の魅力を直接伝え、質の高い体験型学習が提供できるよう、関連団体との協働で道内外の修学旅行や団体の誘致・受入を行っており、都市住民との交流を通じ地場産業の活性化に取り組んでいます。



マルシェ山花（釧路市）

釧路市山花にある直売所で、地元の農産物の素晴らしさや地域の魅力を伝えています。平成22年4月にオープンしました。

新鮮野菜の直売や、牛乳を使用した加工食品、花・種苗などの生産・販売を行っており、収穫祭の開催や、地元農産物及びその活用方法の情報発信など、地域住民との交流に取り組んでいます。



特定非営利活動法人 えんの森（浜中町）

地域の酪農家を中心となり、酪農、漁業等の第1次産業と自然環境との調和を目指し、活力ある地域社会の実現に寄与することを目的としています。

これまでに、風蓮川流域の植樹や魚道製作などの保全活動をしつつ、効果の検証とその結果の普及に努め、環境の改善に取り組んでいます。



グリーン☆ツーリズム標茶（標茶町）

グリーンツーリズム資源を持ち実践している酪農家や養鶏家、野菜農家などの有志、関係団体で平成20年に設立されました。

標茶町のお宝探し隊として宿泊施設や自然体験施設、景観スポットなど町の楽しみ方や自慢できるものを見つけて、グルメマップを作製・発信し、農村と都市の橋渡しをすることを目指しています。（標茶町が羊の形にみえませんか!？）



NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会（鶴居村）

釧路湿原に隣接し、特別天然記念物であるタンチョウの生息・繁殖地でもある鶴居村で豊富な自然や暮らしに触れ、人と出会う旅を体験してもらおうと「着地型観光ツアー」の企画・実施を行っています。

酪農家やチーズ職人、タンチョウの保護活動に携わる方などがガイドを務め、地元ガイドならではの観光プランを目指しています。



白糠漁業協同組合女性部（白糠町）

水産資源が豊かな海を育て、漁業や地元水産物を身近に感じてもらうため植樹や料理教室などの啓発活動を行っています。

平成24年からは、地元産の魚介類で未利用資源や安価な魚種に付加価値を付け加工・商品化（黒上ししゃも、恋問ツブなど）しての販売や、学校給食へ無償提供するなど食育にも力を入れ、消費拡大に取り組んでいます。



中春別地域づくりネットワーク（別海町）

別海町の北部に位置する中春別地域は、広大な土地資源を活用した酪農地帯であると共に、サケマス漁などの水産業も盛んに行われています。

地域酪農の大型化が進み、生産活動の拡大に伴う環境問題が懸念される中、ホタテの粉碎貝殻を利用した水質浄化対策や、花壇・桜並木の整備など美しい農村景観の維持とより良い生活環境づくりを進めています。



北根室ランチウェイ（中標津町）

道東地域には、山や湖そして大規模酪農地帯など、景観の美しさと自然の豊かさにおいて道内屈指のものがあります。この観光資源を生かそうと、長距離自然歩道（ロングトレイル）を整備し、フットパスツアーを開催しています。

中標津町から広大な牧場（ランチ）地帯を通り、摩周湖の外輪山をほぼ半周して弟子屈町までの全長71.4kmの「北根室ランチウェイ」を歩いて北海道を体験してみませんか？

